

平成 22 年度第 2 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 23 年 1 月 26 日 (水) 午前 10 時 00 分～午後 12 時 00 分
場 所	佐倉市役所 社会福祉センター2 階会議室
出席者	<委 員> 湯川委員、関谷委員、魚住委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・道路管理課・課税課・介護保険課・環境保全課 公園緑地課・社会教育課
【議事概要】	
○議題 1 入札・契約の手続き委員長の選出について	
平成 22 年 4 月から平成 22 年 9 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。	
[主な質疑]	
ありませんでした。	
○議題 2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について	
平成 22 年 4 月から 22 年 9 月中に実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した 10 件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。	
[主な質疑内容]	
案件①佐倉市立臼井小学校体育館解体工事（一般競争入札）	
(質問)	予定価格に対してすごく低い落札金額となっていますが、どのような理由があるとお考えですか。
(回答)	積算方法は県の積算単価をもとに計算しています。また、工事の一般的な傾向としてですが、低入札調査基準価格が公表となるとその価格での入札が並んでしまうことがあるようです。 低い理由ですが、今回の工事内容は解体工事ということで、解体専門業者には処分場を併せて経営している業者もいます。今回の落札業者も処分場を持っている業者ですので、その解体したものの持ち込みに係る経費が削減され低い金額でも会社の利益が見込めるとの判断があったのだろうと考えています。
(質問)	低入札調査基準価格が公表されるとその価格で並んでしまうということですが、あまり合理的な見方ではないと思います。普通であれば、本当に取りたいということであれば、より低い価格で入札されると思うのですがいかがですか。

(回答) 今回の案件については低入札調査基準価格を設定しています。基準価格を下回った場合には調査があり、面倒と考える業者もいると伺っています。たとえ企業のほうで積算して安くなってもその金額をあげて入札金額にするということもあるようです。

また、自治体の考え方によるものですが、この低入札調査基準価格の外に最低制限価格というものがあります。低入札調査基準価格はその価格を下回った場合でも調査した結果で合理的な理由がある場合には契約を締結します。一方、最低制限価格というのはその価格を下回ると失格になってしまいます。業者もその制度についてあまり理解されていない場合など基準価格と近い価格で並ぶ傾向にはあります。

(質問) 企業の営業努力というのはどういう形で入札金額の差に影響が出ると考えますか。

(回答) 解体を生業とする業者の中には産業廃棄物の処分場を同時に経営する業者もいます。そういう業者は低い金額での入札となる傾向にあります。そうでない場合にはやはり他者の処分場の利益分も加わるので高くなる傾向になっているようです。

(質問) 処分場を持っている持っていないとうで入札金額に差が出る、当然持っている方が有利になるということですか。

(回答) 他市や県を見ても、同じような状況ではあります。

(質問) 評価点とは何ですか。

(回答) 完了検査に際して履行された内容に対し評価するものです。

案件②佐倉市民音楽ホール舞台床張替工事（随意契約）

(質問) 3者がほぼ同価格で入札していることについて、何か考えはありますか。

(回答) 一度、制限付き一般競争入札に付した際の公告では、こちらの案件も低入札調査基準価格が設定されていました。今回、1者も参加申請がなく随意契約ということになったのですが、業者が見積もる際に70%ということにされたのではないかと考えています。

(質問) 募集して誰も参加申請しなかったということですが、床の張替工事というのはあまり魅力的ではないのか。

(回答) 大手の業者にとっては、今回の規模の工事はあまり大きい工事ではないのでうまみを感じないのではと考えています。

(質問) 床の張替というのは何年ごとにやっているのですか。

(回答) 開館以来床全面張替工事を行うのは、今回が初めてとなります。

(質問) 一般競争入札だと参加者がいなかったのに、見積書は複数者から提出があったというのは何が考えられますか。

(回答) 先ほど大手の業者にはあまりうまみのある工事ではないと申しましたが、まだ、指名競争入札が多い状況ですので、指名されたら出さなければいけないという風に業界の方々は考えていただけているのではないかと感じております。

案件③下勝田Ⅰ-31号線道路改良工事(一般競争入札)

(質問) 積算にどのような項目があるのか、もう少し詳しく教えてください。

(回答) アスファルト舗装が約720㎡、U字溝敷設が約180m、その他歩道への点字ブロック設置などです。

(質問) 同じ工事でも1の案件とは違う傾向にあるようですが、どのようにお考えですか。

(回答) 工事の種類にもよると考えます。アスファルトのみの工事ですと低い傾向になるようですが、今回の工事にはU字溝敷設が入っており、U字溝を加工する必要があるため、人件費分が上がったものと考えています。

(質問) この工事で言う企業の努力とはどのようなことが考えられますか。

(回答) 今回の内容ですと、材料はメーカーとの交渉でどこまで抑えられるのか、また機械類を自社保有か借りるのかなどによって社内的な経費を抑えることが考えられます。
この工事に関しては、作業としては単純なものが大部分を占めておりますので

(質問) 入札金額が似通っているのは、他の工事と違い業者の個性が発揮できないから並ぶと考えているのですか。あまりに近い数字が並ぶと疑念を抱くことのようなことはないのですか。

(回答) 説明の中でも申しましたが、年度当初はやはり高い傾向となるのは確かだと考えています。

また、疑念とのことですが、たとえば談合があるとの情報が入ったり、そのような要素が考えられるという場合は市役所内でまず調査委員会を設置して調査を行うこともありますし、調査の結果で公正取引委員会に報告することもあります。実際に佐倉市でも過去に公正取引委員会に報告したこともあります。

(質問) 時期的に高くなる傾向とのことですが、一番目の案件は同時期で低入札となっています。何か違いがあるのでしょうか。

(回答) 1の案件は県内業者まで参加できる要件となっています。より一層競争が働いた結果と考えます。

案件④岩富6 - 263号線地質調査業務委託(一般競争入札)

(質問) 予定価格に対して落札金額がすごく低いけどどのように考えていますか。

(回答) 以前の会議でもお答えしていますが、コンサルタント業務についてはどの自治体の入札でも低い落札率という傾向があります。積算の単価について適正かどうか国などでも検討するような動きがあるようです。

(質問) 低い金額になっていますが、調査業務が完了した際に工事の様に出来栄えなどの評価はしているのですか。

(回答) 業務完了後に完了検査をしています。結果として、もしできが悪かったり、不完全なものということになればやり直しをさせることもできます。

(質問) 先ほどどの自治体でも低い傾向だということですが、みな同じような状況なのですか。かなり低い落札金額になっていますがどのようにお考えですか。

(回答) 今回の約25%というのは極端だと思っています。他の自治体などを見ますと50%を割る位の状況です。また、入札の方法にもよるものと考えますが、他の自治体において指名競争入札を行っている件を見ましても50%から60%位になっています。

(質問) 佐倉市でこのような状況になったのはいつくらいからですか。

(回答) 一般競争入札が導入されてからと考えています。指名競争入札の場合は、参加者が誰か、おおよそその会社の入札の傾向などが、おそらく会社の営業マン同士ですと考えがつくのかと思いますが、一般競争入札ですと、参加している業者もわからないため利益が出るギリギリで入札をしていると考えています。

案件⑤平成24年度固定資産税評価替えに係る

標準宅地等の鑑定評価業務委託(4. 根郷地区)(一般競争入札)

(質問) 一覧を見まして、この案件のほかに4件同じ業務があるのですが、このような業務委託を以前からやっていたか。

(回答) 事業はやっていたのですが、入札をしたのは今年度が初めてです。

今回の入札については、公告で1者が重複して複数の案件を落札することができないという方法をとっています。

(質問) 入札参加者が少ないように思うのですが、不動産鑑定士はどのくらいいるのですか。

(回答) 佐倉市の入札参加名簿に登載されている方は40者位います。

公告の参加資格で経歴を要件にしていますが、価格バランスの調整などは県内でも県外でも大体同じような業務ですので、県外の方も参加してもらえることも考えてお

りました。当初ではもっと多くの業者から参加してもらえると考えておりました。

(質問) 地区を分けた理由、分けた結果としてどのようにお考えですか。

(回答) 不動産鑑定士が個人で事務所を構えていることが多いので、1者当たりで履行可能な件数を考慮して5地区に分けております。また、結果ですが、一括して発注するより良かったと判断しています。ただ、県内ではほとんどの市町村が県の不動産鑑定士協会と随意契約を行っていてこの人はここということがだいたい決まっていますので、早い時期に入札は行ったのですが、人の融通が難しかったということも考えられます。

(質問) 5件の入札への業者の参加状況を教えてください。

(回答) 入札に参加した業者数ですが、延べで5者となっています。うちすべての案件に参加したのが4者、1者は1件のみの参加となっています。

(質問) いずれの方も市内の業者ですか。

(回答) 4者は市内の業者で、1者は居住は佐倉市ですが事務所は県内の他市となっています。

案件⑥平成22年度経年変化図作成業務委託(随意契約)

(質問) 説明の中で経費削減が図られているとのことですが、この請負率を見ますと削減につながっていないように思うのですが、どのようにお考えですか。

(回答) この業務ですが、現地調査を行い変わった部分を落とし込むということですので、人件費が積算のメインとなります。この業者はすでに住宅地図などの調査をしていますのでその分削減できると考えます。また、他者に参考のため見積書を徴したところ4倍近い金額となっておりましたので、削減できたと考えています。

(質問) 業者の選定理由で「この業者しかない」とのことですが、他の自治体もこの業者が行っているのですか。

(回答) 近隣の市町村の中では、この業務を行っているのは佐倉市のみとなっています。

(質問) 予算額が600万円で予定価格が90万円ということですがこの開きはどのようなことでしょうか。

(回答) 600万円というのは課でこれらに関する業務全体を行う分で、その予算の中でこの業務を行うための部分ということで予定価格は約90万円となっています。

案件⑦平成22年度佐倉市介護保険システム機器賃貸借(随意契約)

(質問) 落札率が100%というのはどう考えますか。

(回答) 業者を選定するにあたっては、公募型のプロポーザル方式により金額だけでなく事業者の提案をみて選定しております。その結果、提案された金額での協議となったので100%となっております。

(質問) 前のシステムと比べて金額的な差はどうなっていますか。

(回答) 前のシステムは平成16年から5か年ということで導入したのですが、おおよそ9700万円となっております。今回のシステムについては、おおよそ8400万円ですので1300万円位が下がっているものとなっております。ただし、前はサーバも含めていたのですが、今回は仮想化サーバということでサーバ自体が入っていない内容となっております。

(質問) 公募型プロポーザルを実施したとのことですが、参加者はどのくらいでしたか。

(回答) 今回、2者となっております。

(質問) 前回のシステムはどこのものでしたか。

(回答) 今回同様日立製を導入していました。

(質問) 佐倉市はこれからもずっと日立製を使っていくのですか、今後は別の業者のものということも考えられますか。

(回答) ほかの自治体を見ますと他社製のシステムを導入している団体もありますので、次のシステム更新の際には結果によっては別のものが入るということも考えられます。

(質問) 公募で2者の参加ということですが、少ないような気がするのですがどのように思いますか。

(回答) 介護の制度をすべてカバーしているシステムは3者あることは確認しておりました。そのうち1者は参加表明はあったのですが、新しいシステムを今後出す予定があるということで今回については辞退となっております。

案件⑧平成22年度河川水質及び底質調査業務委託(一般競争入札)

(質問) 落札率がとても低いことをどう考えていますか。

(回答) 業者に伺ったところでは、千葉での実績を作りたいためぎりぎり利益の出る金額で入札したとのことでした。現場を効率的に回り人件費を抑えることや、仕事がなく機械を遊ばせておくよりも利益が少なくても受注した方がよいとの会社の判断もあるよう

に考えています。

(質問) 工事にも出ていますが、県の積算単価というのは公表されているのですか。

(回答) 公表されています。

(質問) 開札結果を見ますと、金額の高い部分で、600万円台後半で業者が並んでいることに対してどのようにお考えですか。

(回答) 個人的にはこれくらいが適正な価格と考えることもありますが、この業界は競争が激しい面もあるように伺っていますので、下げないと

案件⑨(仮称)佐倉西部自然公園区域内山林整備事業(下志津地先)業務委託(一般競争入札)

(質問) 緊急雇用創出事業ということでハローワークを通じて人材を確保しているとのことですが、雇用された方はすべて市内の方ですか。

(回答) 市内の方でなければいけないということはできないのですが、極力市内の方を雇っていただきたいという願いはしています。ただ、実態を見るとほぼ市内在住の方となっています。

(質問) 新たに人を雇用するということですか。何人ですか。

(回答) 新たに雇用するということです。社会保険にもちゃんと入っています。仕様書では4人を新規に雇用することとなっています。

(質問) 人を募集しなければならないなど、通常の業務より手間がかかるように思うのですが、今回の業務が終わった後で、何かその業者にとって優遇されるような措置はあるのですか。随意契約で何か発注がされたりするなどのことがありますか。

(回答) 入札に対する優遇措置というものはありません。また、随意契約で優遇するというものもありません。

(質問) 新規の4名についてはこちらでちゃんと把握はしているのでしょうか。

(回答) 把握しています。提出書類でハローワークの紹介状なども含まれております。

案件⑩平成22年度学校プール開放管理業務委託(一般競争入札)

(質問) 平成19年も1者とのことですが、同じ会社ですか。

(回答) 同じ会社です。

(質問) 平成19年以前の入札参加者の状況を教えてください。

(回答) 平成18年は3者、17年度は8者の参加者がありました。

(質問) 過去に他の自治体で事故が起きた件以降で業者の数は減っているのですか。

(回答) 業務を行う業者の数は減っていると思います。他市に状況を聞いてみたのですが、入札を行っても参加者がいないという自治体もありますし、事業自体をやめてしまうかどうかを検討しているという自治体もあるようです。業者としてもこのような業務委託に手を上げることが難しい状況にあるようです。

(質問) 市内の全学校をこの業者が行っているのですか。

(回答) 今年度、プールを開放しているのは根郷中学校だけです。

(質問) 積算方法を教えてください。

(回答) 積算単価のうち、当てはまる業種はないのですが、類似の業務として清掃員に基づいて積算しています。

○その他

なし

以上